

第4回 昭島市男女共同参画推進委員会

議 事 要 旨

〔日 時〕 令和6年10月4日（金）18：30～20：00

〔場 所〕 アキシマエンス校舎棟 男女共同参画センター

〔出席者〕

1 委員： 金野美奈子委員長、柴田邦臣副委員長、長谷部高史委員、牧野愛子委員、向井翔兵委員、森川民子委員

欠席委員：上川純子委員、佐藤晴美委員、

2 事務局：滝瀬子ども家庭部長、吉田男女共同参画・女性活躍支援担当課長、渡邊男女共同参画センター担当係長

3 傍聴者 0名

〔配付資料〕

- ・昭島市男女共同参画プラン年次評価報告書【令和5年度 進捗状況】（案）
- ・年次評価報告書修正案 一覧

〔議事要旨〕

1 開会

資料の確認

◇本日は、上川委員と佐藤委員が欠席である。昭島市男女共同参画推進委員会要綱第6条2項、委員の半数以上が出席のため委員会は成立する。【事務局】

2 議題

（1）男女共同参画プランの総合的な評価及び提言のまとめについて

◇報告書案のご説明の前に、前回委員会での質問についてご報告させていただく。No.48 職員課への事前の質問で、「市についての相談件数は何件か。」という質問に、主管課より「数値は公表できない」と回答があったが、報告書に職員のハラスメントはNo.49 職員課の欄に【相談件数】が記載されているため、この件数はどのような内容か確認した。No.48 で周知している相談窓口はNo.49 の窓口と同じものであり、公表できないものは相談の内容についての詳細な内訳件数であるとのことであった。

それでは、男女共同参画プラン 年次評価報告書をご覧いただきたい。1 ページ「はじめに」では男女共同参画プランの経緯や推進委員会の目的、評価の方法について。そして、令和4年度に男女共同参画都市宣言 20 周年を迎え、その翌年の5年度の進捗状況の評価であることを記載した。2 ページからの表は「施策ごとの評価」について、会議での皆様のご意見から主なものを記載した。5 ページからは「各目標における総体的な評価」について、目標ごとに評価できる部分及び課題や今後期待する部分について、会議での皆様のご意見を記載した。7 ページからの「課題の整理」については、ご審議いただいた中で特に強く伝えたい部分について取り上げた。

【課題1】地域活動における男女共同参画の推進は、日頃の地域活動と合わせて、災害対策対応について、地域のさまざまな団体と性別・年齢にかかわらず、ともに活動を継続することについて課題とした。

【課題2】多様性を認め合う男女共同参画社会への理解と推進では、会議でご提案いただいた例を記載し、様々な工夫による多角的な見地からの適切な情報発信の実践への期待を記載した。

【課題3】ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたさらなる取組の強化は、ビジネスルールが変わっていく中で、時代に合わせ適切に周知啓発に努めることを要望した。

【課題4】 あらゆる暴力の防止の若年層の意識啓発とハラスメント防止の啓発では、若年層、職場、スポーツ活動のあらゆる面から、暴力の予防啓発を訴えることを記載した。

報告書の修正案について、ご意見をいただいたので、A4横型の一覧にして配付した。

【事務局】

☆それでは、1ページから4ページの間でいただいた意見の説明を事務局から願いたい。【金野委員長】
◇報告書案3ページ目標Ⅲ被害者の安全確保のための関係機関の連携のコメント欄について、「**研修参加**
受講者数」の部分を変更してはいかがかと案であり、本日ご審議願いたい。次にハラスメント防止のための啓発・相談支援コメント欄において、「相談支援については、相談者に寄り添った対応に努められたい。」に不要な改行があるため、修正。次に、4ページ年代や性差に応じた健康づくりの支援のコメント欄「健康に興味関心が無い方」に対してどのように働きかけていくか、についての取組に期待します。」の文末を言い切りに修正したい。【事務局】

☆**研修参加受講者数**については受講者数でよろしいか。2ページ冒頭の「令和3年度から策定された本「プラン」という箇所であるが、わかりづらい部分があるので、端的に「令和3年度からの本「プラン」でよろしいか。【金野委員長】

◇令和2年度に策定され、3年度からの実施という事で、ご指摘の通りである。【事務局】

☆目標Ⅱ女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進では、「業務の効率化を構築する必要性」とあるが、「業務の効率化を実現し」と端的に記載して良いのではないかと。目標Ⅲあらゆる暴力の根絶と被害者支援「性別にこだわることなく暴力の根絶に努めていただきたい。」は「性別に限定せず」はいかがか。また、3ページの表、目標Ⅲ若年層への意識啓発の評価コメント欄の中で、「啓発場所等に課題が残る」とあり、啓発場所とはどんな場所だろうかと、報告書を読んでいる方に分かりにくいと思われる。【金野委員長】

◇「啓発方法」「啓発手段」か【事務局】

☆そのような形でよろしいと思われる。【金野委員長】

☆4ページ、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの部分について「主に女性の権利であるが、」とあるが、両性相互理解の観点から、読んでいて引っかかるので、削除していただければと思う。次に、年代や性差に応じた健康づくりの支援のコメントにおいて、「健康に興味関心の無い方」と記載しており、これは主管課の報告かと思うが、やや直截かと思う。「薄い方」「弱い方」とすると和らぐと思う。【金野委員長】

◆自分自身、評価する際の表現に気を付けようと思う。例えば、4ページのこのころの健康に関する支援の「優」評価のコメントは「強くお願いしたい」だが、「可」の評価のコメントは「取組を期待する。」となっている。自分の中では「強くお願いしたい」の方が評価の厳しい印象である。受け取るニュアンスが違うと思う。今回の校正の際、ほぼ完成しているものに対し、申し出づらかったためそのままであったので、事前の評価の際から表現に注意しようと思う。【牧野委員】

★評価のコメントは語尾について根本的に考え直していただきたい。「優」に対して厳しく、「可」に対して優しく記載している。「優」に対してはよくできている主旨を。また、「可」に対してはこれから強く尽力を希望する主旨をパターンとして、全体的な整合性を取り直し、修正していただきたい。委員会の主旨も表れ、読む方にも分かりやすいものになると思う。関連して、「可」の評価の2つについては、議論し「可」に収まっている。それをふまえて目標の総体的な評価で記載する必要がある。今回「可」の一つが目標Ⅳ地域防災活動における男女共同参画の推進の中の防災・復興体制のまちづくりにおける女性参画の推進について言っているが、それが上手く表れていない。事業の視点は良いが実行や遂行に不足があるために「可」になっている。目標Ⅳの地域防災活動における男女共同参画の推進の中で十分ではないので、ということを加えていただきたい。事前に若い人や女性もシミュレーションを行う等の有効性を強く提案するので実行していただきたい。地域団体の活動支援についても、蓄積された伝統はあるが、セールスポイントをしっかりと活かして地域での情報共有というものをより進めて活用できる

ような体制を作る必要があるのではないかと提案している。2つの「可」についてはさらにしっかり取り組んでいただきたいということを、総体的評価に加えてほしい。【柴田副委員長】

☆では、「主要施策ごとの評価」については、ご提案のように、文章の締め方を統一していただきたい。6ページの「総体的な評価」目標Ⅳについては強調点を記載していただきたい。【金野委員長】

◆6ページ「総体的な評価」目標Ⅳ「地域防災計画の修正において、女性の視点からの防災検討部会の設置をし、女性が点検を行ったことは、特に生死を分ける地域防災計画では重要なことでありました。」の後段は、女性が点検を行うと生死を分けることにどうつながるのか読み方によっては、若干の違和感があると思える。「生死を分ける」を強調したいのか。【長谷部委員】

☆地域防災計画が大切なものであるという表現ではあると思うが、いかが修正するか。【金野委員長】

◆女性が点検を行ったことが重要なことであるので、「生死を分ける」は削除で良い。【長谷部委員】

◆同じく総体的な評価の目標Ⅳ「若い人も女性も含めて実際に被災したらどうするかシミュレーション」の部分は、シミュレーションの実施者の前提として男性と高齢者は入っている、ということのようで文章に違和感があった。【長谷部委員】

☆性別や年代にかかわらずという事か。【金野委員長】

◆ご指摘の通り。【長谷部委員】

☆初めてこの報告書を読んだ方が、どう捉えるかということに留意したい。【金野委員長】

☆総体的な評価は、こういうこととして欲しい、という提言も含んだもので良いか。7、8ページの課題とは別に、目標毎に記載しているということであるか。【金野委員長】

◇総体的な評価という事なので、目標ごとに全体的にまとめ、課題の整理では、その中でも課題であると捉えた大きなものを記載した。【事務局】

☆評価の中では、良かった悪かった、の他にもっとどうすれば良いかということも含めて評価という事か。【金野委員長】

◆ご指摘の通り。【事務局】

☆全体の構造を考えると、2ページに全体の評価が入っており、次の表に細かく評価が記載され、またその後大きな項目が記載されている。分かりやすい構造を考えると、初めに全体が見えるように記載し、詳細は後ろに記載した方が理解しやすいのではないか。内容を変えるというより、順番を入れ替えるという事はいかがか。案を作成してみるので、ご検討いただければと思う。【金野委員長】

☆課題の整理の部分のそれぞれの課題は、目標に対応しているのか。【金野委員長】

◇目標には対応はしておらず、課題と思われる重要度で記載した。【事務局】

◆課題3の「人手不足などから育児、介護等に直接関わる人の周囲にしわ寄せが起きないように」という周囲というのは、直接関わっている人の周囲か。【牧野委員】

◇審議の中で、該当の方が休むという権利意識は広がって来ているという話があり、育休取得後の職場の人達にしわ寄せがいかないようにする必要があるという部分を記載した。【事務局】

◆直接関わる人の周囲に限定しているのはなぜか、と分かりづらいと思われる部分がある。当事者と周囲の両方を入れ、また、「しわ寄せ」というと直接的すぎるため「負担の連鎖」等はいかがか。【牧野委員】

◆今の話からも表現の大切さを実感した。報告書では、委員の述べたことが記載されるのか。発言しやすいようにかみ砕いて述べた表現も報告書にそのまま採用されてしまうことは一考の必要があるのではないか。【向井委員】

☆会議では、分かりやすく発言していただければ良いと思う。そして、文章化する際に、委員も検討、修正していけば良いのではないか。事務局にも文章化の際には配慮をお願いしたい。【金野委員長】

◆「結びに」の後段「誰にとっても生きやすい社会を目指す「昭島」という文言であるが、「生きやすい」という言葉が気になった。「生きる」「死ぬ」ではなく、どちらかというと「暮らしやすい」等が適切ではないか。また、私達は「生きやすい社会を目指している昭島」を望んでいるのではなく、「地域社会で暮らしやすい昭島」を希望しているのではないか。【長谷部委員】

☆ご提案の表記はシンプルで誤解のない表現になるのではないかと。【金野委員長】

☆「結びに」の中段の評価について、担当課評価がなぜそうなっているのかということについて、伝えていただいているが、もう少し協調していただいても良い。【金野委員長】

◇承知した。【事務局】

◇次に報告書9ページNo.15指導課 委員会のコメント欄「スクールカウンセラーは、児童・生徒のみならず、保護者も相談できることを周知しても良いと思う。」について「スクールカウンセラーは、在校児童・生徒のみならず、その保護者も相談できることを周知しても良いと思う。」に修正し、あくまでもSC(スクールカウンセラー)はその学校に関わる子供のことで保護者が相談するため、そのニュアンスが、読まれる方々に理解されるよう修正する。

他にご意見があれば、10日までにいただき、修正したものを、最終版とさせていただきます。【事務局】

★貴重な意見が出たので、良い報告書が出来ると思う。10日までに意見を出しその後の修正は委員長に一任したいと思う。【柴田副委員長】

◆一同 同意

☆本日までお忙しい中ありがとうございました。では、各委員からご感想等いただきたい。【金野委員長】

★この委員会は皆さんからのご意見でとても勉強になる。いただいたご意見をさらに調べると広がりがあり参考にもなっている。また、委員会のこのような形で昭島に貢献できればと思っている。【柴田副委員長】

◆勉強になった。今回の報告書は昨年度と違う新しい視点が多く入っており、内容的に本当に良いものになった。委員の意見を取り入れ、組み込んだ報告書になり、感謝している。【長谷部委員】

◆前回から参加しているが、どんどん練られているという印象で、嬉しく思う。標記の件等でも勉強になる。また、昭島生まれではないが、参加でき感謝している。【牧野委員】

◆市民委員という立場で、少しでも昭島市が良くなればと考えていた。会議に参加し、良いですね、というだけではなく提案もできなければと思っていた。十分ではない部分もあると痛感したが、皆様のおかげでここまで来た。今後もよろしくお願いしたい。【向井委員】

◆市の職員の方々が、一生懸命仕事に取り組んでいることを、短い文面の中から評価しなければならない難しさがあった。委員会の特性上、啓発という曖昧なものをどう評価、検証するのかという事が難しかった。記載されている内容が少ないので、インターネットを利用し、自分の住んでいる町のことを調べ、考え、知らない用語もかなり学んだ。また来年もお願いしたい。【森川委員】

☆久しぶりにこの委員会に関わることとなり、皆様にご協力いただいた。委員、事務局に感謝申し上げる。

【金野委員長】

◇ご意見は、10月10日（木）までにご連絡いただきたい。取りまとめ、委員長と調整、ご確認後最終版をメールでお送りする。そして、10月30日に金野委員長から市長へ委員会を代表して報告していただく予定となっている。最後に子ども家庭部長からご挨拶申し上げます。【事務局】

◇本年度、5月から本日まで4回の推進委員会について感謝申し上げます。いただいた評価は各職場にフィードバックしている。評価の内容のみならず、この会議でのご意見等からも勉強させていただいている。そのような視点で各担当に伝えている。進捗を進めていくのはもちろんだが、後退してしまう場合もあるかと思うので、今後ともご指摘いただきたい。実感としては、数字以上に庁内にも男女共同参画が浸透してきていると感じているところである。来年以降もさらに推進させていきたいと思っている。来年度も引き続きご協力のほどお願いしたい。【事務局：滝瀬子ども家庭部長】

☆一年間ありがとうございました。来年度もよろしくお願いしたい。【金野委員長】